

ほっとニュース

宮城県立古川支援学校 特別支援部 NO. 8 2018. 3. 13 発行

日ごとに春の気配を感じる季節になりました。各学校の先生方におかれましては、子どもたちの1年間の成長や、次年度の課題が見えてきている時期かと思えます。また、年度末の事務整理や新年度の準備にと多忙な毎日が続きます、くれぐれも健康にご留意いただきたいと思います。

さて、特別支援学校におけるセンター的機能として、今年度の本校の取組をご報告させていただきます。次年度も地域に少しでも貢献できるよう努めていきたいと思えます。

～ 古川支援学校のセンター的機能 ～

教育相談、研修支援、理解啓発、情報提供、連携の5つの内容を行っています。



◇教育相談（ほっと相談）

保育所、幼稚園等の未就学のお子さんや、小・中学校の児童生徒について保護者、先生方からの相談について対応させていただきました。

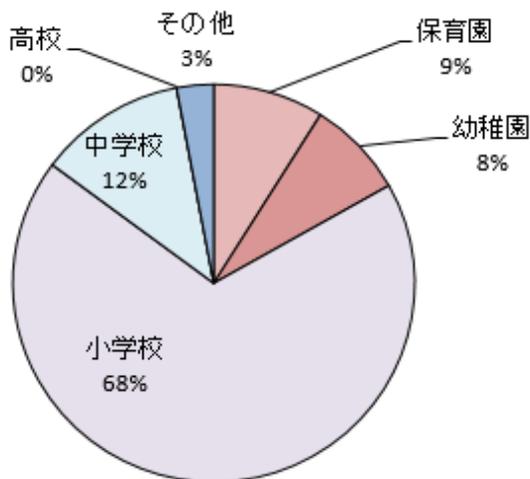
【 教育相談件数 】

309件

<内 訳>

来校： 40件
電話：168件
訪問：101件

(2/28 現在)



◇研修支援

研修会の実施、授業公開、研修会への講師派遣等の支援を行いました。

【 研修会 】

8/3 ほっと相談夏季研修会（専門性向上研修会）

「発達につまずきのある子どもを支える支援」

～本人理解と家族支援の視点から～

仙台白百合女子大学 人間発達学科 教授 氏家 靖浩 氏

【 授業公開 】

11/27 指導主事訪問授業公開

【 講師派遣 】

- ・北部児童相談所 家族教室「就学について」
- ・中新田小学校 出前授業「居住地校学習のお友達」
- ・色麻小学校 出前授業「力を合わせてミッションクリア！」
校内研修「通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒に対する支援の在り方について」
- ・松山中学校 親子講演会「あなたも私も大切なひとり」
- ・不動堂小学校 校内研修「通常学級における特別な支援を必要とする児童への支援の在り方について」
- ・大崎市特別支援教育コーディネーター研修会
「地域支援コーディネーター派遣について」～特別支援学校のセンター的機能とこれからの特別支援教育～
- ・大崎地区教育研究会特別支援教育部会 夏季研修会「検査法講習：田中ビネーV、K-ABC」



◇理解啓発

学校見学会、体験学習、作品展等の公開、支援部だよりにより特別支援教育の理解啓発を行いました。

6/13 小・中学部学校見学会

7/3 高等部学校見学会

2/2～6 作品展（緒絶の館）

*体験学習 通年、個別に対応

*支援部だより

1号 特別支援部員紹介

2号 教育相談の流れ

3号 行動には訳がある（行動分析と対処法）

4号 公開講座研修会（ほっと相談研修会）報告

5号 障害とICF（国際生活機能分類）・後期インクルーシブ理解教育研修会概要報告

6号 特別支援学校への就学について

7号 愛着障害（愛情の器モデル）

8号 センターの機能活動報告

本校ホームページでもご覧いただけます。



◇情報提供

学校紹介（HP）、検査器具の貸し出し、教材・教具等の貸し出し等を行いました。

検査器具等貸出 5 件

知的障害専門部会より、地域で活用配布可能な『S-M社会生活能力検査第3版』の検査用紙をお預かりしています。必要な場合には、本校までお問い合わせください。

本校ホームページ

<https://furuyou.myswan.ed.jp>



地域支援をクリック！

◇連携

各種連携協議会等への参加により、地域との連携を深めました。

- ・大崎市特別支援連携協議会
- ・美里町特別支援教育連携協議会
- ・大崎市特別支援教育コーディネーター連絡会
- ・美里町特別支援教育コーディネーター連絡会
- ・各市町自立支援協議会

